| | |
|---|---|
| 6 | ９番　　金　子　　恵　　議員<br><br>①　高齢者福祉について<br>　長与町の高齢化率は２５．７％（令和３年１０月３１日現在）となり、約４人で一人の高齢者を支えていくという構造になっている。高齢者が住み慣れた地域で安心して、かつ安全に、自分らしく自立した生活を送ることができるようにしていく上で、どのような地域づくりが求められているのか。また、高齢者のみの世帯が増えてきている実態にある中、日常生活の中で見守り、安否確認、外出支援、買物、調理、掃除等の家事支援など、公助だけではサービス対応が困難になってきている面もあるのではないかと考えている。<br>　地域包括ケアシステムの基本である高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続して営むことができるよう、「住まい」「介護予防・生活支援」「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」の５つのサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築が重要である。そのためにも、地域における福祉活動の充実・推進という観点から、今後の新たな公助が必要だと感じている。本町において、高齢者福祉に関しどのように進めていくのか、以下の質問をする。<br>（１）地域共生社会の実現に向けて、平成２９年度の法改正で介護予防、健康づくりの取組強化による健康寿命の延伸が求められている。公的支援のあり方を含め、地域づくりを育む仕組みへと転換していくため、地域包括支援センターの機能強化が求められているが、生活支援コーディネーターなどの強化が必要ではないか。<br>（２）本町におけるサロンの設置状況はどのようになっているか。<br>（３）定年後、社会から卒業し余生を楽しみたいと考えながらも、デイケアに行くにはまだ早い。しかし、引きこもりになると老化が進むなど悩む高齢者が増えていると聞く。これは、高齢者の集う場所が少ないことが考えられる。日々、楽しみ活動ができる環境整備により、高齢者の体と心の健康に寄与する政策を新たに考えていくべきと思うが見解を伺う。<br><br>②　ごみ行政について<br>　これまで、資源化物回収、違法ごみ・不法投棄に関し質問をしてきた。違法ごみに関しては、各人のモラルに委ねる部分が大きいが、住民の意見を拝聴するとその考えは様々であり、とは言えそのすべてをどうにかできるという問題ではないことは理解できる。しかし、同じ長与町に住まいを置き生活する中で、快適に暮らしていくために問題があれば解決していくことも行政の役割と考えている。よって、以下の質問をする。<br>（１）町全体の最近の違反ごみの状況はどうか。改善されているか。<br>（２）住民からの様々なごみに関する意見、要望への対応はどのようなものか。<br>（３）監視カメラを役場のごみステーションに設置したが、効果はどうか。<br>（４）資源化物回収に関し、ステーションでの回収を考えていくとしていた。紙類はステーション回収が決まったようだが、その他については今後どのように進めていくのか。その後の検討内容を聞く。<br><br>③　市街地でのイノシシ対策について<br>　町なかでのイノシシ目撃や被害に遭う危険から帰宅を急ぐなど、相談が続いている。対象地区の周囲は長与小、長与中学校のスクールゾーンになることから地域住民の心配が絶えない状況である。農業者ではないため補助の対象にもならない。箱罠しか手立てがない状況であることは理解しているが、今後、この状態を放置することは、単に拡大していくのではないかと危惧している。行政としての対応は本当にないのか。そうであったとしても、何らかの対応に期待するが所見を伺う。 |